

No.1035 2016年7月25日

ARIBの動き

周波数資源開発シンポジウムを開催

7月15日(金)、「2020年に向けた新たな無線システム」をテーマにした「周波数資源開発シンポジウム 2016」が、一般社団法人電波産業会及び国立研究開発法人情報通信研究機構主催、総務省後援により、明治記念館の蓬莱の間(港区元赤坂)において開催されました。

2020年に向けて、ICT成長戦略に「新たな付加価値産業の創出」を掲げ、第5世代移动通信システム(5G)による新たなサービスやビジネスの創出、IoTの実現のため多種多様な機器の接続、ミリ波やテラヘルツ波といった未開拓の周波数帯の開発・利用、あるいは次期技術試験衛星(ETS-IX)といった新たな無線システムの開発が進められています。我が国は、これらの新たな無線システムの導入に向けて、制度的課題の検討を含め、特に我が国の強みである安心・安全な無線システムを国際競争力のある将来の基幹産業として育てるべく、産学官一体で取り組んでおります。

本シンポジウムでは、2020年に向けた新たな無線システムについて、産学官の専門家に講演頂きました。



周波数資源開発シンポジウム 2016の様子

シンポジウムでは、国立研究開発法人情報通信研究機構の富田二三彦理事が開会の挨拶を行い、総務省総合通信基盤局の渡辺克也電波部長から来賓挨拶をいただきました。総務省総合通信基盤局の田原康生電波政策課長から「最近の電波政策の動向について」の演題で基調講演をいただいた後、第5世代モバイル推進フォーラム技術委員会委員長で大阪大学大学院の三瓶政一教授から「5G時代におけるサービス及び無線通信技術の展望」、大阪大学大学院猿渡俊介准教授から「これからのIoTに必要な無線通信技術の展望」、パナソニック株式会社オートモーティブ&インダストリアルシステム社高橋和晃部長から「ミリ波帯、テラヘルツ波帯の無線システムの動向と将来像」、国立研究開発法人情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク総合研究センター門脇直人センター長から「IoT/5G時代の衛星無線通信技術」の演題で有意義なご講演をいただきました。

また、当日は約260名の方々にご来場いただき、大盛況のうちに終了いたしました。



国立研究開発法人情報通信研究機構
理事
富田 二三彦 様



総務省 総合通信基盤局
電波部長
渡辺 克也 様



総務省 総合通信基盤局
電波部 電波政策課長
田原 康生 様



大阪大学大学院
教授
三瓶 政一 様



大阪大学大学院
准教授
猿渡 俊介 様



パナソニック株式会社
部長
高橋 和晃 様



国立研究開発法人情報通信研究機構
ワイヤレスネットワーク総合研究センター
センター長 門脇 直人 様

今週の ARIB 内会合 (7月25日～7月29日)

- 7月25日(月): スタジオ設備開発部会 スタジオ音声作業班
- 7月26日(火): スタジオ設備開発部会 機器間インタフェース作業班
- 7月26日(火): 第19回防災行政無線システム作業班
- 7月26日(火): 第20回規格評議会
- 7月27日(水): 第242回技術委員会(通信・放送合同)
- 7月27日(水): 素材伝送開発部会 素材伝送用 HEVC コーデック評価 JTG
- 7月28日(木): スタジオ設備開発部会 音声品質評価法作業班
- 7月28日(木): 電磁環境委員会 第9回委員会見解作業班
- 7月29日(金): 第142回電波利用懇話会

今週の国際会合 (7月25日～7月29日)

- 7月26日(火)～7月28日(木): 1st Meeting of the APT Conference Preparatory Group for WRC-19 (APG19-1) (中国、成都)



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp